

はじめに

今回、Abu Dhabi (アブダビ) で Asian Federation of Psychiatric Associations (AFPA) が主催する The 6th World Congress of Asian Psychiatry (WCAP)において、若手精神科医向けの program に参加させていただきましたのでご報告申し上げます。

Abu Dhabi の紹介

Abu Dhabi はイスラム教圏のアラブ首長国連邦 (UAE) を構成する首長国の一つです。裕福な産油国であるため自国民 (15%) に優遇された制度が多く、医療費・教育費が無料の上、最低年収も 600 万円! という破格だそうです。しかも、企業は一定割合で自国民を雇用しなければならない一方で、実際の労働は国外からの出稼ぎ労働者 (85%) が支えているため、自国民の労働は「月に 1 回職場に来て書類にサインする」という極端な例もあるようです。そんな対人場面を避けることができる環境に加え、夏には 50℃にも達するという気温の高さも相まって、精神医学的には引きこもりや社会不安障害が多いとのことでした。さらに、出稼ぎ労働者は罪を犯すと国外退去になること、自国民は手厚い保護により犯罪の動機がないことから、極めて治安が良いというのも意外でした。ビーチに荷物を置きっぱなしで泳ぎに行っても、全く心配ないそうです。確かに道中で物乞いを見かけることはなく、人々の表情には余裕があり、オイルマネーで国家が潤っているという状況を肌で感じることができました。

若手精神科医向けの Program

1. 概要

今回は、元世界精神医学会会長の Norman Sartorius 先生が若手精神科医のための program を organize され、オーストラリア・バングラデシュ・エジプト・インド・インドネシア・日本・ミャンマー・パキスタン・スリランカ・UAE から計 18 名が参加し、日本からは久我弘典先生・田中増郎先生・長徹二先生・大矢希先生・堀之内というメンバーが参加しました。program の内容は、CBT や学習障害のワークショップ、各国の著名人を独占して質問できる Meet the Expert、そして Sartorius 先生が直接指導に当たる Special session for young psychiatrists と充実した構成になっていました。

Program 中は隙あらば発言しようとする各国参加者の Active な姿勢に圧倒されつつも、各国での精神医療体制の違いを議論したり、休憩時間に同じ知り合いの話で盛り上がり、仲良くなって一緒に取った写真を Facebook でイイネ! し合うなど、充実した時間を過ごせました。また各国の参加者の中には、日本精神神経学会の Fellowship Award の受賞者もあり、旧交を温めました。

2. Special session for young psychiatrists

まずは Art of introduction を学ぶということで他己紹介を行い、そのエッセンスに関する指導を受けました。ここでは、人を紹介する際にはメモを見ないこと、プライベートな内容は言わないこと、他の人に印象づけるための工夫をすることなど、座長での演者紹介にも通じるポイントが指摘されました。

次に How to make a presentation として、複数の参加者が口演を行い、伝わりやすいメッセージは何か、どんなスライドが分かりやすいのか、など実際の発表を通して学びました。日本からは大矢先生が指名され、Course for Academic Development of Psychiatrists (CADP) という JYPO の研修コースについて紹介を行い、関心を集めました。

最後に How to be elected として、ある団体の president に立候補するという想定で、私も role play として選挙演説を行いました。ここでは、自信満々の振る舞いは有効だが行き過ぎると信用されないこと (proud)、控え目に振る舞うと信頼感がある一方で訴求力が足りなくなる可能性があること (modest)、などが指摘されました。個人的に大きな学びであったことは、「投票者が聞きたいことは何か」を念頭において演説することが極めて重要であり、かつ聴衆の性質によっても proud から modest までの間で最適な演説方法が変わり得るという点でした。これは、もし機会があればこの点に留意して演説したいと思わせる、実践的な学びでした。

AFPA/EPA 合同セッション

メインプログラムの一つである AFPA/EPA (European Psychiatric Association) の合同セッションにおいて、Congress president である神庭重信先生、EPA の現 president である Silvana Galderisi 先生とともに Symposiast として発表しました。私は JYPO の活動をメインに紹介し、現在の統合失調症医療について触れたところ、統合失調症の Renaming について質問を受けました。そして、ヨーロッパでも Schizophrenia という用語は Stigmatic なイメージが強く、Renaming することに意味があるかもしれないなどのコメントをいただき、疾患の Renaming に関するコラボレーションの可能性が示唆されました。

その他

他にも Presidential dinner に招待され高級アブダビ料理を堪能したり、Sheikh Zayed Grand Mosque というモスクの巨大さ・美麗さに圧倒されたり、愛想笑いしないせいで怖そうに見えるが実際は親切な現地の方の優しさに感動したり、と多様な経験を積むことができ、極めて充実した4日間でした。

最後に

参加に当たりまして、JYPO にお声掛けくださり貴重な発表の機会までくださった神庭重信先生、多岐にわたりご支援をくださいました Norman Sartorius 先生・Afzal Javed 先生・

2017年 AFPA 派遣報告書
The 6th World Congress of Asian Psychiatry in Abu Dhabi

新福尚隆先生・岸本年史先生・秋山剛先生、ご援助くださいました AFPA・JSPN の方々には改めまして厚く御礼申し上げます。今回の program は、アジアの若手精神科医同士が互いに刺激を受けられる素晴らしい機会となり、これを機に若手同士の繋がりも一層強めていきたいと存じます。



(文責：堀之内 徹)